

**学校給食における食品廃棄物の再生利用についてのご教示のお願い**

先日は突然のお電話失礼いたしました。

滋賀県立大学4年生、村田留理子と申します。

お忙しい中の突然のアンケートの依頼、申し訳ありません。私は現在、卒業研究において

「学校給食由来の食品廃棄物リサイクル推進の条件に関する研究

～地域的な広がりが見られる事例を対象として～」

というテーマで実施しております。

今回、調査対象として、

情報誌「朝日新聞」、WEB「学校給食ニュース」など

に掲載されていた学校給食における食品廃棄物の再生利用に関して取り組まれている方 に対してアンケートのお願いをさせていただいております。

ご教示いただく内容につきましては、統計的に処理いたしますので、ご回答内容で皆様にご迷惑をおかけすることは決してございません。

つきましては、ご多忙のところお手数をおかけして誠に恐縮ですが、どうか主旨をご理解いただき、ご検討いただければ幸いに存じます。

尚、誠に勝手ながら、11月20日までに返信していただければ幸いに存じます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

2007年10月25日

滋賀県立大学環境科学部環境計画学科環境社会計画専攻金谷研究室

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500

TEL：0749-28-8279 FAX：0749-28-8349

4回生 村田留理子(調査担当者)

TEL：090-3621-8547

E-mail：ruriwo0913@yahoo.co.jp

または、f13rmurata@ec.usp.ac.jp

---

《ご教示についてのお願い》

- ・ 指定された項目の選択肢については、指定された数のみ選んでいただき、ご回答下さい。
- ・ 質問によって「その他」という選択肢がありますが、この選択肢を選ばれる場合には、  
( )内に具体的な内容をご記入下さい。
- ・ 尚この調査に関してご質問がおりになる場合には、上記の金谷研究室の 村田 まで、  
お電話かE-mailにてご連絡いただければ幸いです。

《回答方法について》

- ・ 電話でも詳細をお伺いいたします項目がございますが、その項目については「    」のマークで表示しています。よろしく申し上げます。

付録 1-2 アンケート調査

貴団体およびご回答者様の基本情報

ご記入欄	
取組・ 事業名	
団体名	
所在地	
*以下、いただいたアンケートについてお尋ねさせていただく歳のご連絡先をご記入下さい。	
Tel:No.	
Fax:No.	
E-Mail:	
*ご回答者様のご役職とお名前	
部署名	
ご役職	
お名前	
<p>ご希望される方には、アンケート結果を郵送させていただく予定です。 アンケート結果の返送を希望されますか？</p> <p style="text-align: right;"><u>YES or NO</u></p>	





問7. 事業活動の協力者等、関係している団体様 ございましたら、わかる範囲でご記入ください。  
また、差し支えなければ 御連絡先 もお教えてください。

	関係者種類または名称	連絡先(TELNo.)
食品廃棄物排出者		
廃棄物の収集・運搬		
再生利用等関係者(管理・処理者等)		
利用者(関係農家等)		

問8. 「問2のI：監査役」についてお伺いします。

(1) 「 =主に実行するもの」と答えられた方は、  
よろしければ監査役の担当者様の役職・お名前をお答えください。

役職 : { }

担当者名 : { }

(2) 「 =関係あるもの」と答えられた方は、  
よろしければ監査役の担当者様の所属・お名前・役職をわかる範囲でお答えください。

所属 : { }

役職 : { }

担当者名 : { }

問9. 再生利用における、食品廃棄物の 投入量、再生物の製造量、配布・頒布量 について。

(1) 数量的な推移をご記入ください。(単位=トン)

	学校給食残渣 投入量	学校給食以外 投入量	製造量	無料配布	有償頒布
平成14年度					
平成15年度					
平成16年度					
平成17年度					
平成18年度					
平成19年度(見込み)					

(2) 学校給食以外の投入物質としている廃棄物を 全て 選択してください。

A : 公共施設系厨芥

B : 事業系厨芥 (流通業や外食産業)

C : 家庭系厨芥 (家庭・食堂・商店など)

D : 動植物性残渣 (食品製造業)

E : 家畜糞尿

F : 剪定枝

G : 紙類

H : その他 (

)

問10. 配布・頒布先について、お教えてください。

(1) 無料配布先について、当てはまるところを 全て 選択してください。

A : 教育施設 (小・中・幼・保)

B : 公立施設

C : 公立農園

D : 提携農家

E : イベント配布

F : その他 (

)

(2) 有償頒布について

有償頒布の際、製品の品名や原材料名の表示がございましたら、下記の表にご記入ください。

名称	
原材料名	

品名の由来があれば、お教え下さい。

--

有償頒布の際、製品の成分表示がございましたら、その詳細を下記の表にご記入下さい。

- \* 「成分表」には、計測された最新のデータを記入下さい。
- \* 「品質指標値」には、貴団体の指標としている値・理想値・目指す規格で定められている値をご記入下さい。

製品の成分分析表(原物当たり)		
	成分表	品質指標値
pH		
強熱減量		
電気伝導率		
含水率		
水分	%	
塩分	%	
蛋白質	%	
脂質	%	
炭水化物	%	
窒素	%	
リン酸	%	
加里	%	
炭素	%	
C/N比	%	
カルシウム	%	
ナトリウム	%	
マグネシウム	%	
銅(PPM)		
亜鉛(PPM)		
ヒ素(PPM)		
カドミウム(PPM)		
水銀(PPM)		

有償頒布料金について、数量のパターン・料金設定・また、料金設定の基準や理由がありましたら、それを下記の表にご記入ください。

袋販売			
渡し価格	( ㊦・ kg)	1袋につき	円
	( ㊦・ kg)		円
	( ㊦・ kg)		円
	( ㊦・ kg)		円





問 1 1 . 配布・頒布先動向について

( 1 ) 無料配布先に、基準年 { 活動実施年 } から、数的な変化はありますか？

かなり増えた ・ 増えた ・ 変わらない ・ 減った ・ かなり減った

( 2 ) ( 1 ) の要因として、考えられるものがあれば、お手数ですが、以下の欄にご記入下さい。

( 3 ) 無料配布先について、対象に変化がある場合、お手数ですが、以下の欄にご記入下さい。

例：学校教材用に配布していたが、特定の地域農家に実験的に仕入れることになった、等。

( 4 ) 有償頒布先について、基準年 { 活動実施年 } から数的な変化はありますか？

かなり増えた ・ 増えた ・ 変わらない ・ 減った ・ かなり減った

(5)(4)の要因について、考えられるものがあれば、お手数ですが、以下の欄にご記入下さい。

(6)有償頒布先について、対象に変化がある場合、お手数ですが、以下の欄にご記入下さい。

例：実験的に提携農家のみ販売していたが、一般家庭へも販売することになった。





(2)「D：その他」を選んだ方は、お手数ですがその方法を具体的に以下の欄にご記入下さい。

問5．現在の再生利用の方式に決定した経緯を教えてください。

問6．事業立ち上げについて

(1) 事業を立ち上げるために立ち上げ準備としての活動計画はありましたか？

はい ・ いいえ

(2) 「はい」と答えた方は、その計画の内容を簡潔にお答えください

例：堆肥化事業のための、期間を設けた生ごみ堆肥化実験 等。

問7．補助金や資金調達方法は、どのように決定しましたか？

また、その詳細をお手数ですが、以下の欄にご記入下さい。

問8. モデルとした事業について

(1) 先駆けて活動していて、モデルとした事業はありますか？

はい ・ いいえ

(2) 「はい」と答えた方に伺います。

モデルとした事業の 数 をお教えてください

	個
--	---

最も参考にしたモデル1つについて、可能な限りで結構ですので、基本情報をご記入ください。

\*事業名 ( )

\*事業主体の区分・所属 { 該当する組織全てを選択してください }

- A : 自治体の担当部署      B : 事務組合      C : NPO団体      D : 市民会議  
 E : 学校施設      F : 学校給食センター      G : 公立廃棄物処理施設  
 H : 民間廃棄物処理施設      I : その他 ( )

\*再生利用方法 { 当てはまるもの全てを選択してください。 }

- A : 堆肥化      B : 飼料化      C : バイオガス化      D : 炭化処理  
 E : 廃油脂、廃食用油リサイクル      F : 液肥化      G : その他 ( )

\*知った時期(西暦)

\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月頃

\*影響を受けた点 ( = 細部まで参考にした      = 参考にした )

A	食品廃棄物の排出	
B	食品廃棄物の収集・運搬	
C	食品廃棄物の中間処理	
D	食品廃棄物の最終処理	
E	食品廃棄物の再生利用活動等の実施	
F	住民への啓発運動(体験活動等)	
G	住民への情報開示	
H	料金や制度の設定	
I	監査役	
J	生産物の利用	
K	その他( ⇒ * )	

\* 影響を受けたことなど、他にも何かございましたら以下の欄にご自由にご記入ください。

## 取組の特徴・成果について

問1. 取組自体の目的・期待される効果として、当てはまるものを全てお選びください。

- (1) 掲げている目的にチェック(  記入 )をし、  
また、明確な目的など、明文化された活動指標がある場合は  を記入してください。

	目的区分	◎or○
A	循環型社会活動の推進	
B	環境教育の推進	
C	食育の推進	
D	行政のイメージ向上	
E	環境負荷量の削減	
F	ごみ減量	
G	環境意識の向上	
H	住民意識の向上	
I	住民のモラル向上	
J	コスト削減	
K	売り上げの増大	
L	その他( )	

- (2) 活動指標の設定について、メリットやデメリットなども含めて具体的な内容をお答えください。

例:

区分記号	指標名	再生利用堆肥で環境教育！残食率の5%低下！
B	内容説明	食品が循環していることを理解し、食べ残しを減らすために、芋の苗植えに再生利用堆肥を使用し、食品の生産から消費の流れを体感してもらう。

区分記号	指標名	
	内容説明	



区分記号	指標名	
	内容説明	

区分記号	指標名	
	内容説明	

区分記号	指標名	
	内容説明	

区分記号	指標名	
	内容説明	

区分記号	指標名	
	内容説明	

区分記号	指標名	
	内容説明	

区分記号	指標名	
	内容説明	

区分記号	指標名	
	内容説明	

区分記号	指標名	
	内容説明	

区分記号	指標名	
	内容説明	

区分記号	指標名	
	内容説明	

(3) その他、特記すべき目的・指標設定がございましたら、ご記入ください。

問2. 問1.の指標を踏まえ、実際活動している中で 工夫している点 をお聞きします。何かございましたら、大変お手数ですが、その取り組みの該当する過程の種類を下記の選択肢から選び、また次頁の表に具体的な内容をご記入ください。

\* また、その成果について、次の評価項目についてお答え下さい。

- : 必要性・・・事業活動全体に対して掲げた目的の妥当性
- : 有効性・・・数値等で証明される成果など成功度
- : 妥当性・・・目的に対して行った手段の妥当性
- : 効率性・・・出た成果に対しての取り組みへの労力・立ち回り等の割合

これら4つの項目に関して、

大いにある ・ ある ・ やや欠けている ・ ない

という評価レベルに分けて、可能な範囲内で判断し、ご記入下さい。

選択記号一覧

- A：学校給食の食品廃棄物の回収過程について
- B：再生利用・処理過程について
- C：再生利用物の供給先について
- D：地域内のコミュニケーションについて
- E：市民・学生・園児への啓発運動について
- F：活動地域ならではの特性利用
- G：その他

例：

選択記号	取り組み開始年月		対象	
C	2007年	10月	提携農家	
	取り組み期間			
	1年3ヶ月			
取り組み内容	家の方に再生利用堆肥を使用してもらうための実演販売			
堆肥の良質さや、循環資源としての意識を持ってもらうために、学校給食から回収している過程や、堆肥化している環境の良さをボードに表示しての説明会を月に1回実施している。				
成果判定	：必要性	：有効性	：妥当性	：効率性
～ 記入				
成果内容	再生利用堆肥を使用したいという農家が増えただけでなく、生産物を学校給食に供給したいという声もあがっている。有効性が大いにあると思った理由は、請求農家の数が半年で倍になったため。			

以下、記入表

選択記号	取り組み開始年月		対象	
	年	月		
	取り組み期間			
取り組み内容	テーマ等「 」			
成果判定	: 必要性	: 有効性	: 妥当性	: 効率性
~ 記入				
成果内容				

選択記号	取り組み開始年月		対象	
	年	月		
	取り組み期間			
取り組み内容	テーマ等「 」			
成果判定	: 必要性	: 有効性	: 妥当性	: 効率性
~ 記入				
成果内容				

選択記号	取り組み開始年月		対象	
	年	月		
	取り組み期間			
取り組み内容	テーマ等「 _____ 」			
成果判定	: 必要性	: 有効性	: 妥当性	: 効率性
~ 記入				
成果内容				

選択記号	取り組み開始年月		対象	
	年	月		
	取り組み期間			
取り組み内容	テーマ等「 _____ 」			
成果判定	: 必要性	: 有効性	: 妥当性	: 効率性
~ 記入				
成果内容				

選択記号	取り組み開始年月		対象	
	年	月		
	取り組み期間			
取り組み内容	テーマ等「 」			
成果判定	: 必要性	: 有効性	: 妥当性	: 効率性
～ 記入				
成果内容				

選択記号	取り組み開始年月		対象	
	年	月		
	取り組み期間			
取り組み内容	テーマ等「 」			
成果判定	: 必要性	: 有効性	: 妥当性	: 効率性
～ 記入				
成果内容				

選択記号	取り組み開始年月		対象	
	年	月		
	取り組み期間			
取り組み内容	テーマ等「 _____ 」			
成果判定	: 必要性	: 有効性	: 妥当性	: 効率性
~ 記入				
成果内容				

選択記号	取り組み開始年月		対象	
	年	月		
	取り組み期間			
取り組み内容	テーマ等「 _____ 」			
成果判定	: 必要性	: 有効性	: 妥当性	: 効率性
~ 記入				
成果内容				

問3 . 学校給食の食品廃棄物を使用する、ということに対するメリットについて。

(1) 一般的に、学校給食における食品廃棄物を利用・使用することで、考えられる利点として当てはまりそうなものを全てお選びください。

記号	選択肢	CHECK
A	材料・調理の管理体制による住民の信頼（安全・安心）	
B	幼年期・学童期からの食育	
C	幼年期・学童期からの環境教育	
D	環境教育と食育の展開（体験型学習の充実）	
E	循環型社会活動の推進	
F	資源循環システムによる継続性	
G	地場産物の地場消費	
H	関係セクターの連携（コミュニティ）	
I	行政のイメージ向上	
J	環境負荷量の削減	
K	環境意識の向上	
L	住民の意識向上	
M	住民のモラル向上	
N	コスト削減	
O	売り上げの増大	
P	ごみ減量	
Q	その他 ( )	

(2) 利点として選んだ理由を、ぜひお聞かせください。



問4 . 活動に取り組むにあたって苦勞された点について。

(1) 設定された項目の中で、

未経験による苦勞があったものは、「未」の欄に を。

法律・仕組み上の苦勞があったものは、「法」の欄に を。

事務的な苦勞があったものは「事」の欄に を。

実施上に苦勞があったものは「実」の欄に を。

それぞれ記入してください。

\* 各項目、複数の選択が可能です。

記号	項目	未	法	事	実
A	再生利用方法の設定				
B	再生利用方法の確立				
C	再生利用実験				
D	廃棄物の主な回収源の範囲設定				
E	廃棄物の回収量の安定性				
F	廃棄物の回収量減でのジレンマ				
G	廃棄物の運搬について				
H	生産物の主な供給先の範囲設定				
I	生産物の供給の安定性				
J	堆肥内の必要成分量の確保				
K	施設建設計画の立ち上げ				
L	市民からの理解を得るまで				
M	市民への啓発活動				
N	市民への情報開示				
O	料金の設定や制度の設定				
P	運営にあたっての会計				
Q	食育の推進				
R	環境教育の推進				
S	体験型学習の提案				
T	生産者との結びつき				
U	その他				

(2)「U：その他」や、上記の項目についてなにか補足することがございましたら、ご自由にご記入下さい。

(3)(1)・(2)で答えていただいた「苦勞」について、経験された際の感想等ございましたら、お手数ですが、以下の欄にご記入下さい。

## . 今後の課題について

問1. 現在の再生利用方法について。

(1) 現在の再生利用方法は継続されますか？

はい ・ いいえ

(2)(1)で「はい」と答えられた方にお伺いします。

現在の再生利用方法を用いた事業活動は、成功であったといえますか？

大いにいえる ・ いえる ・ あまりいえない ・ まったくいえない

(3)(2)において、そう思われる理由や指標等ございましたら、お手数ですが以下の欄にご記入下さい。

(3)(1で)「いいえ」と答えられた方にお伺いします。

今後考えている再生利用方法はありますか？ ( )

(4)(3)において、そうお考えになった理由をご記入下さい。

問2 . 学校給食における食品廃棄物の再生利用についての事業・取り組みが成功する条件は何だとお考えですか？何かございましたら、お手数ですが、以下の欄にご記入下さい。

例：住民・住民団体とのコミュニケーションの充実。職員の環境教育。

問3 . 現在の事業活動からの波及効果として、何か考えられるものはありますか？お手数ですが、以下の欄にご記入下さい。

例：一般住民への家庭系生ごみのリサイクルへの意識向上。

アンケートはこれで終わりです。

お忙しい中ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。